

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000628	市有集会所事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	地域振興部				
基本理念	11	市民協働の推進		担当課	まちづくり推進課				
基本方針	01	地域コミュニティ活動を活性化する		新規継続区分	継続事業				
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業				
施策				自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計	款	項	目			
710202	集会所等維持管理関連事務事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
710211	市有集会所整備事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
650377	市有集会所災害復旧事業	01	一般会計	11	災害復旧費	05	その他施設災害復旧費	01	その他施設災害復旧費
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
	直接実施								
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
	補助金 (補助先:)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	地域活動や防災活動の拠点である集会所施設を整備することにより、施設の安全性や機能・利便性が向上し、地域コミュニティの活性化を図り、住民自治の運営を円滑に行えるよう条件整備を行う。 集会所、学習、催事等の場所として整備を行う。								
対象 (誰・何を対象に)	市民 受益者(自治会を対象)								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	地元要望に基づき、市が所有する集会所施設の老朽化に伴う改修やバリアフリー化を施行する。市が改修工事を施行し、地元が事業費の1割を負担し事業を実施する。(平成27年度末市有集会所数43施設) 平成27年度実績 43,487千円 市有集会所整備事業 27,513千円 市有集会所災害復旧事業 15,555千円 集会所等維持管理関連事務事業 419千円								
関連事業 (同一目的事業等)	地域振興補助事業								

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	工事請負費	千円	11,300	39,721	6,600	0
		委託料	千円	0	3,046	5,025	4,664
		役務費	千円	346	422	317	330
		需用費	千円	0	220	507	49
		使用料及び賃借料	千円	73	78	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	15	0	105	2,183
	小計	千円	11,734	43,487	12,554	7,226	
B	人件費	千円	0	5,200	1,736	1,600	
	総事業費(A+B)	千円	11,734	48,687	14,290	8,826	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	11,642	339	329	558	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	92	48,348	13,961	8,268	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000628 市有集会所事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	整備件数	目標	件	4	4	4	4
		実績			4	4	4
		単位コスト	円		10871.750	3138.500	1806.500
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	%	100	100	100	100
		実績			100	100	100
単位コスト							
成果実績	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																																				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		円滑な地域コミュニティ活性化の形成の場として、集会所の必要性は高く住民ニーズも高いものである。 今後、公共施設マネジメントにより地元移管を前提として、施設の在り方を検討する。																																				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		市民が自主的に使用できる場を確保することで、市民の主體的な活動や住民自治の促進を図ることができる。																																				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		市所有の集会所として、施設整備は必要であり、地元要望に基づき施行するものであるが、老朽度合いや緊急性により優先順位を定め判断している。 また、軽微な修繕については地元対応により施行していただくこととしている。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl;">成果の方向性</td> <td>① 拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>② 拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	① 拡充	×			○	維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	② 拡大	コスト投入の方向性						C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要) 既存集会所の機能を確保するとともに、福知山市公共施設マネジメント実施計画に基づいた市有集会所の地元譲渡を行う。 地元協議のなかでは、今後の地域コミュニティのあり方や、地域での必要性もあわせて議論し、円滑な地元譲渡を進める。			
成果の方向性	① 拡充		×			○																																
	維持		×			×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	② 拡大																																	
コスト投入の方向性																																						

計画事業評価表

計画事業	000629 地域振興補助事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度		担当部名	地域振興部			
基本理念	11	市民協働の推進			担当課	まちづくり推進課			
基本方針	01	地域コミュニティ活動を活性化する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	H28棚卸し(非公開)			
根拠法令									
構成予算事業				会計	款	項	目		
710210	地域振興補助事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法		補助金 (補助先: 自治会)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	地域活動や防災活動の拠点である集会施設等の整備に対して、施設の安全性や機能・利便性が向上し、地域コミュニティの活性化を図り、住民自治の運営を円滑に行えるよう支援を行う。 集会、学習、催事等の場所として地域住民が利用する。								
対象 (誰・何を対象に)	市民 受益者(自治会を対象)								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	各自治会が主体となって施行する地元所有の集会施設整備に対して、福知山市地域振興補助金交付要領に基づき、申請のあった自治会に対して補助金を交付する。 交付率 基本補助率(20~30%)にへき地・過疎地加算(10%)及び高齢化加算(0.5%~3.0%)を加えた割合。 平成27年度実績 4,285千円(8箇所) 負担金補助及び交付金(補助金)								
関連事業 (同一目的事業等)	市有集会所整備事業								

コスト		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	A	負担金補助及び交付金	千円	1,010	4,285	19,860	11,915
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	
	小計	千円	1,010	4,285	19,860	11,915	
B	人件費	千円	0	2,400	1,200	1,440	
	総事業費(A+B)	千円	1,010	6,685	21,060	13,355	
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	5,612
		府支出金	千円	0	0	6,417	0
		国・府支出金コメント					
		地方債	千円	0	400	7,000	0
		その他特財	千円	1,010	0	0	0
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	0	6,285	7,643	7,743	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000629 地域振興補助事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	補助件数	目標	件	8	8	6	6
		実績			8	8	9
		単位コスト	円		535.625	2482.500	1323.889
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
単位コスト							
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	要望に対する実施率	目標	100	100	100	100	
		実績		100	100	100	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																							
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		円滑な地域コミュニティ活性化の形成の場として、集会所の必要性は高いものであり、住民ニーズも高いものである。																							
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		施設の老朽化やバリアフリー化等地域における要望に対応することで、コミュニティの拠点施設としての有効性が高い。																							
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		地元所有集会所の地域での位置づけを鑑み、地域課題に則した改修等に対して補助を行うことにより、コミュニティの活性化に寄与するものである。																							
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																							
事務事業の方向性の組み合わせ		C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要) 補助事業を継続することを前提として、市有集会施設の公共施設マネジメントの進捗と関連付けた補助率等の見直しを行い、公共施設マネジメントによる市有集会所の譲渡に係った改修に対応する。																							
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>x</td> <td>x</td> <td>x</td> </tr> </table>	拡充	x			○	維持	x			x	縮小	x		x	x	休廃止		x	x	x				
	拡充	x			○																				
維持	x			x																					
縮小	x		x	x																					
休廃止		x	x	x																					
<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>○</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="5">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		皆減	縮小	維持	○	拡大	コスト投入の方向性																		
皆減	縮小	維持	○	拡大																					
コスト投入の方向性																									

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000631	元気出す地域活力支援事業						
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成22年度	担当部名	地域振興部			
基本理念	11	市民協働の推進		担当課	まちづくり推進課			
基本方針	01	地域コミュニティ活動を活性化する		新規継続区分	継続事業			
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業			
施策				自由区分3	H28棚卸し(非公開)			
根拠法令	なし							
構成予算事業		会計		款		項		目
710115	元気出す地域活力支援事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11 地域交流推進費
710118	元気出す地域活力支援(地方創生先行型)	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11 地域交流推進費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業		
実施方法		直接実施						
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)						
実施方法		補助金 (補助先: 自治会、地域団体等)						
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		地域住民が主体的に参画する団体が行う、地域活力の向上や課題解決に向けた事業に対して支援し、地域住民の連帯強化及び個性ある地域振興を図ることを目的とする。						
対象 (誰・何を対象に)		市民 受益者						
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>地域の活力向上や課題解決に向け、地域住民が主体的に参画して行う事業に対して補助金を交付する。</p> <p>補助率 一般枠 2/3(補助金上限 100千円) 起業準備支援枠 2/3(補助金上限 100千円) 若者創造枠(団体の構成員の平均年齢が30歳未満の団体を対象) 10/10(補助金上限 200千円) 子育てグループ支援枠 10/10(補助金上限 200千円) 女性団体等起業準備支援枠 10/10(補助金上限 200千円)</p> <p>平成27年度交付実績 2,957千円</p> <p>・負担金補助及び交付金 一般枠 17件 1,529,000円 起業枠 1件 100,000円 若者枠 4件 727,830円 子育て枠 2件 400,000円 女性起業枠 1件 200,000円</p>						
関連事業 (同一目的事業等)								

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	3,200	2,957	1,790	2,338
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	3,200	2,957	1,790	2,338	
	B	人件費	千円	0	4,000	3,600	2,960
	総事業費(A+B)	千円	3,200	6,957	5,390	5,298	
財源内訳	国支出金	千円	1,600	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	1,600	0	1,790	2,338	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	0	6,957	3,600	2,960	

計画事業評価表

計画事業		000631 元気出す地域活力支援事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	補助金申請団体	目標	団体	26	28	30	30
		実績			25	17	26
		単位コスト	円		118.280	105.294	89.923
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	補助金交付団体(一般枠)	目標	団体	20	20	20	20
実績				17	14	23	
補助金交付団体(若者創造枠等)		目標	団体	5	6	3	3
	実績			7	2	3	
起業準備支援枠	目標	団体	1	2	1		
	実績			1	1		

事項		担当課評価																																			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		地域課題を持つ自治会や市民団体は多く、申請件数も増加傾向にあり、地域住民が主体的に実施する事業に対して市として支援する必要性は高い。																																			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		住民自らが考え、行動することで、地域の実情や課題に沿った、効果的・効率的な事業となり、有効性は非常に高い。																																			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		課題に直結する事業が実施できることにより、効率性は高い。																																			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																			
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl;">成果の方向性</td> <td>拡大</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡大	×			○	維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要) 事業実施主体間の相互交流の場を設け、情報交流の機会の創出が必要である。		
成果の方向性	拡大		×			○																															
	維持		×			×																															
	縮小		×		×	×																															
	休廃止		×	×	×																																
		皆減	縮小	維持	拡大																																
コスト投入の方向性																																					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000870	里山交流事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成26年度	担当部名	地域振興部				
基本理念	11	市民協働の推進		担当課	まちづくり推進課				
基本方針	01	地域コミュニティ活動を活性化する		新規継続区分	新規事業				
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業				
施策				自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令									
構成予算事業			会計	款	項	目			
710146	里山交流事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		地域産業の掘り起こしと、里山地域に居住する市民の生きがいがいづくり(都市部に居住する小中学生等との交流活動)に資するため、本市における農家民泊開業者の増加と、教育旅行の受入制度を構築する。							
対象 (誰・何を対象に)		市民 農家民泊開業者及び開業希望者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>農家民泊開業(許可取得)に向けて下記の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察見学会(京丹後市) 参加者 4名 ・農家民泊実践報告会 参加者 6名 <p>京都府(担当:地域づくり推進室)のセミナー等に参加し、連携して事業を推進する。</p> <p>平成26年実績 139千円 報償費 35千円 委託料 45千円 使用料及び賃借料 59千円</p> <p>参考 平成26年度までの開業件数 6件 本市における農家民泊開業準備件数 2件(うち1件は、本市のセミナー等受講者)</p>							
関連事業 (同一目的事業等)									

事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		使用料及び賃借料	千円	0	126	59	0
		負担金補助及び交付金	千円	0	79	0	0
		報償費	千円	0	44	35	0
		旅費	千円	0	7	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	350	0	45	0
		小計	千円	350	256	139	0
		B	人件費	千円	0	2,000	0
総事業費(A+B)	千円	350	2,256	139	0		
財源内訳	国支出金	千円	175	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	175	281	139	0	
地方債・その他特財コメント							
一般財源	千円	0	1,975	0	0		

計画事業評価表

計画事業		000870 里山交流事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	セミナー参加者数	目標	人		12		
		実績				10	
		単位コスト				13.900	
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	農家民泊開業者数	目標	人		5		
実績							
目標							
実績							
目標							
実績							

事項	担当課評価																																
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	地域産業の掘り起こしと里山地域に居住する市民の継続的な生きがいつくりとして有効な事業であるとする。 次年度より補助金等で実施主体が単独で事業を実施できるよう制度を構築する。																																
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	ボランティアでなく、開業者が多少の地益を得たうえでの里山交流活動を推進することで、継続的な地域産業の活性化と農家民泊開業者の生きがいつくりにつながる。																																
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	本年度、農家民泊開業に向けたセミナー等の事業を実施するとともに、次年度より補助金等で実施主体が単独で事業を実施できるよう制度を構築する。																																
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>皆減</td> <td>○</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止	○	×	×	×	皆減	○	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要)
成果の方向性		拡充	×																														
		維持	×			×																											
		縮小	×		×	×																											
		休廃止	○	×	×	×																											
	皆減	○	縮小	維持	拡大																												
コスト投入の方向性																																	

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000879	ふくち街コンプロジェクト推進事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成25年度		担当部名	地域振興部				
基本理念	11	市民協働の推進			担当課	まちづくり推進課				
基本方針	01	地域コミュニティ活動を活性化する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	H28棚卸し(非公開)				
根拠法令	平成25年福知山市職員提案事業									
構成予算事業			会計	款	項	目				
820261	ふくち街コンプロジェクト推進事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
事業基本情報	実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
	直接実施									
	業務委託又は指定管理		(委託先又は指定管理者:)							
	補助金		(補助先: 福知山市青年会議所)							
事務事業の意図		若者が主体となって実施する地域一体型事業として、市内外の男女が交流する機会を創出するとともに、中心市街地の活性化に寄与することを目的とする。								
対象		福知山市在住・在勤の結婚適齢期の男女								
事業内容		<p>福知山青年会議所への運営補助 福知山青年会議所が主体となって中心市街地活性化、街・商店・地域ぐるみで作り上げる地域一体型イベントとして、市内外の男女の出会いを促進するとともに、独自性の高い「街コン」を実施 平成27年度は、平成28年3月15日(日)にサンプラザ万助を主会場に市内協力店を回遊する形で実施した。</p> <p>平成27年度実施内容 市補助金200,000円 参加者内訳 男女50人 計52人 参加費 男性7000円 女性3000円</p> <p>一般社団法人福知山青年会議所</p>								
関連事業		(同一目的事業等)								

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	0	200	300	400
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	200	300	400
	B 人件費	千円	0	2,000	0	0
	総事業費(A+B)	千円	0	2,200	300	400
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	200	300	400
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	0	2,000	0	0

計画事業評価表

計画事業		000879 ふくち街コンプロジェクト推進事業						
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		目標						
		実績						
	単位コスト							
	目標							
	実績							
	単位コスト							
	目標							
	実績							
単位コスト								
成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
	参加者	目標	人	200	200	200	150	
		実績			102	200	119	
	参加店数	目標	店	10	10	10	7	
		実績			6	10	7	
	目標							
実績								

事項		担当課評価																												
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		平成25年職員提案事業による事業。 高まる婚活事業へのニーズの反映のため必要である																												
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		結婚適齢期の男女に出会いの場を提供する事業をつうじて、参加店のPRや中心市街地活性化、定住化などあらゆる事業、場面への寄与を行うことができる。																												
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		平成25年度に初回実施。4年間を継続事業であり、福知山青年会議所からの事業継続要望をうけて、段階的に減額するが補助を行う。減額分は参加料により、補填を行っている。																												
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																												
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">コスト投入の方向性</td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×	コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大	A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 市内外の男女が交流する機会を創出した。過年度のイベントを通じ知り合ったカップルが結婚したとの報告もあり、結婚したい男女の出会いの場の一つとなっている。市内店舗を会場とした婚活イベント開催を通じて、中心市街地の活性化に寄与した。市役所の自主研修グループも参加し、京都北都信用金庫からの若者のメンバーとともに事業の運営・企画に携わり、地域団体等の関係性を深めることができた。独自性の高い事業実施方法(親や友達の参加によりあらたな出会いや情報交換の仕組みを構築する)	
成果の方向性	拡充		×																											
	維持		×		○	×																								
	縮小		×		×	×																								
	休廃止		×	×	×																									
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大																									
		高まる婚活事業の必要性に対する行政の関わり方 中心市街地活性化計画との連携が必要 福知山青年会議所を中心とした運営体制の中に、市内の若者や労働団体(長田野労働者連絡協議会)なども協力の意思を示されており、組織の拡充を図り独自に実施していくことを行政がバックアップしていく。 婚活のあり方を検討し、必要であれば継続して事業を実施することの検討も必要 婚活実施上の課題(個人情報保護等)も十分考慮する必要がある。																												

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000630	市民憲章推進事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成3年度	担当部名	地域振興部				
基本理念	11	市民協働の推進		担当課	まちづくり推進課				
基本方針	02	市民主体のまちづくり活動を支援する		新規継続区分	継続事業				
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業				
施策				自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計	款	項	目			
710305	市民憲章推進事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法		補助金 (補助先: 福知山市市民憲章推進協議会)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		豊かな自然に囲まれたふるさと福知山で、市民一人ひとりが生き生きと喜びをもって暮らすことのできる住みよいまちづくりを進めるための行動指針として、平成3年4月1日に福知山市市民憲章が制定された。 市民(61団体・16個人)により組織された福知山市市民憲章推進協議会を中心とした取り組みにより、市民の主体的なまちづくりへの参画を促進するとともに、市民憲章の普及と「幸せを生きる」社会の具現化を目指す。							
対象 (誰・何を対象に)		市民、福知山市市民憲章推進協議会							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		福知山市市民憲章の普及、「共に幸せを生きる」社会の具現化を目指した継続的な事業を展開する。 平成27年度実績 2,152千円 ・負担金補助及び交付金 福知山市市民憲章推進協議会への交付金 2,000,000円 全国市民憲章運動連絡協議会負担金 15,000円 ・旅費 全国市民憲章運動連絡協議会役員等旅費 60,360円 ・需要費 4,752円 ・役務費(郵送料) 72,312円 平成27年度事業概要 ・市民憲章推進大会(市民憲章推進者・四季の写真入賞者表彰、高校生による活動発表) ・市民憲章推進月間(11月)の街頭啓発 ・花いっぱい運動(花時計PR・イルミネーション、キキョウ苗配布) ・笑顔の写真、ふくちやま四季の写真募集事業							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	2,615	2,015	2,015	2,015
	旅費	千円	68	67	60	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	77	209
小計	千円	2,683	2,082	2,152	2,224	
B	人件費	千円	0	3,600	4,800	4,480
総事業費(A+B)		千円	2,683	5,682	6,952	6,704
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	2,683	5,682	6,952	6,704	

計画事業評価表

計画事業		000630 市民憲章推進事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	部会等会議開催数	目標	回	30	30	30	30
		実績			17	22	25
		単位コスト			122.471	97.818	88.960
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	団体等	90	90	90	90
		実績			77	76	76
		単位コスト					
	市民憲章推進協議会構成団体数(個人会員含)	目標	人	300	300	300	300
		実績			500	500	700
単位コスト							
推進大会の参加者数	目標						
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		市民が主体的にまちづくりに関わる前提として、まちづくりの理念である「市民憲章」を市民が理解し、共有する必要がある。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		現状では、入学式・卒業式での唱和など学校現場や推進団体の総会等においての唱和等啓発を行うことにより市民憲章は浸透しつつある。 市民憲章の普及には、市民の主体的な啓発活動への取り組みが有効である。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		事務局は、まちづくり推進課にあるが、各事業実施は、協議会により運営され、効率的な運営となっている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 協議会と協働し更なる市民憲章普及・啓発・啓発に向けた取り組みを進める。青少年の市民に対する普及・啓発・推進に向け、また、本市の「次代を担う」高校生の人材育成として、更に高校生の参画を得た事業実施の取り組みを進める。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
縮小	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大

計画事業評価表

計画事業	000632	国際交流事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	地域振興部				
基本理念	34	国内・国際交流の推進		担当課	まちづくり推進課				
基本方針	02	国際交流を推進する		新規継続区分	継続事業				
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業				
施策				自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計	款	項	目			
130116	国際交流事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		外国籍市民等が福知山市で安心・安全に生活し市民との交流を図り、共に幸せを生き、誰もが生き生きとして輝いて生活できるまちづくりを目指す。							
対象 (誰・何を対象に)		市民及び外国籍市民 来訪・滞在者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		外国籍市民等が福知山市で安心・安全に生活し市民と交流を図ることのできる事業を実施する。 平成27年度実績 108千円 ・旅費 29千円 ・需用費 67千円 平成27年度事業実績 ・外国籍市民生活支援事業 市内公共施設を活用した講座の実施(防災センター・環境パークで避難行動やゴミの分別等の研修) ・国際交流ネットワーク会議の運営 ・国際交流活動ボランティアの運営							
関連事業 (同一目的事業等)									

事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		需用費	千円	80	67	0	17
		旅費	千円	57	28	6	0
		役務費	千円	20	7	3	151
		報償費	千円	32	5	0	0
		報酬	千円	0	0	0	20
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	77	0	0	48
		小計	千円	266	107	9	236
B	人件費	千円	0	3,200	880	3,600	
総事業費(A+B)		千円	266	3,307	889	3,836	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
地方債・その他特財コメント							
一般財源		千円	266	3,307	889	3,836	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		国際交流事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	国際交流イベント回数	目標	4	3	3	3
		実績		4	3	3
		単位コスト	円	26.750	3.000	78.667
		目標				
		実績				
		単位コスト				
		目標				
		実績				
		単位コスト				
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	イベント参加者数	目標	80	80	80	80
		実績		59	0	300
	国際交流ボランティア登録者(家庭)数	目標	63	63	63	59
		実績		63	63	59
		目標				
		実績				

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	本市に在住・滞在する外国籍の方が安心・安全に暮らせることは、人権の観点からも必要であり、利便性や安全性の向上につながるものであり、必要性は高い。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	国際交流ボランティアと外国籍市民との交流により、国際感覚豊かな人材育成を図ることができる。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	国際交流ネットワーク会議が主体となり、民間活力により効率的な運営ができています。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 本市の多文化共生施策を推進する機関として、国際交流ネットワーク会議のあり方を検討する。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000633	地域C I 展開事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成3年度		担当部名	地域振興部			
基本理念	43	観光の振興			担当課	まちづくり推進課			
基本方針	01	地域資源を活性化する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計	款	項	目			
130311	地域C I 展開事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		魅力的なまちづくりを進め、ふるさとへの愛着心の高揚を図るため、市の木・花・鳥及び本市イメージキャラクターの普及・啓発を図る。 市の木・花・鳥及びイメージキャラクターを普及・啓発することで、福知山市の個性化を図り、市内外にアピールすることにより、魅力的なまちづくりを進め、ふるさと福知山への愛着心の浸透を図る。							
対象 (誰・何を対象に)		市民 受益者(市内を対象)							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		平成27年度事業内容 ・市の木・花・鳥の普及・啓発。市の木・花・鳥のパンフレット配布。 ・イメージキャラクター「ドッコちゃん」の着ぐるみ貸与とイラストを活用し市民への啓発を図る。 平成27年度実績 ・需用費 55千円 ・役務費 50千円 ・役務費 21千円							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	23	51	114	254
		役務費	千円	17	2	0	3
		使用料及び賃借料	千円	0	1	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	123	0	561	0
	小計	千円	163	54	675	257	
財源内訳	B	人件費	千円	0	1,200	640	1,240
		総事業費(A+B)	千円	163	1,254	1,315	1,497
		国支出金	千円	0	0	0	0
		府支出金	千円	0	0	0	0
		国・府支出金コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
財源内訳	その他特財	その他特財	千円	0	1	0	0
		地方債・その他特財コメント					
		一般財源	千円	163	1,253	1,315	1,497

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000633 地域 C I 展開事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	着ぐるみ貸し出し件数	目標	35	33	30	30
		実績		32	20	36
		単位コスト	円	1.688	33.750	7.139
	花苗(キキョウ)配布件数	目標				34
		実績				41
		単位コスト				6.268
	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	着ぐるみ貸し出し件数	目標	35	33	30	30
		実績		32	21	36
		単位コスト				
	花苗(キキョウ)配布件数	目標	40	38	36	34
		実績		39	42	41
		単位コスト				
	目標					
	実績					
	単位コスト					

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		イメージキャラクター着ぐるみは、市内イベント等で活用され市民やイベント主催者のニーズは高い。また、イラスト使用にあたっては、各種媒体で使用することにより、本市のPRとなる。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		市の花に親しむとともに、キャラクターの活用により子どもから高齢者まで、ふるさと福知山を実感できる機会となり有効性は高い。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		公私のイベントで活用され、コストをかけずに周知が図れ効率的な事業運営ができている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 平成27年度より2体使用可能となったドッコちゃんの着ぐるみを活用し、市内外のイベント等において貸し出しを行い、普及活動を行う。市民憲章推進協議会と一体化して市歌、市の木・花・鳥の普及にかかる具体的方法について検討する。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000634 くの一武道大会開催事業						
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成9年度	担当部名	地域振興部		
基本理念	43	観光の振興		担当課	まちづくり推進課		
基本方針	01	地域資源を活性化する		新規継続区分	継続事業		
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業		
施策				自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令	なし						
	構成予算事業		会計	款	項	目	
230106	くの一武道大会開催事業		01 一般会計	02 総務費	01 総務管理費	11	地域交流推進費
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業	
		直接実施					
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)					
		補助金 (補助先: くの一武道大会実行委員会)					
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	福知山市のシンボルである福知山城を全国にPRする。						
対象 (誰・何を対象に)	市民 大会参加者(全国を対象) 観覧者(主に観光客を対象)						
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	<p>本市と本市のシンボルである福知山城を全国にPRすることを目的として、女性を対象とした忍術大会を開催する。実行委員会を組織し企画運営を行い、まちづくり団体や市民ボランティアの協力で競技に関する大道具・会場設営を行い、市民協働で実施する。</p> <p>実行委員会：福知山観光協会、尼子事務所(忍たま乱太郎の原作者「尼子騷兵衛」事務所)、福知山市で構成</p> <p>平成27年度実績</p> <p>開催日 平成27年8月22日(土)</p> <p>参加申込 96人</p> <p>参加決定 50人</p> <p>参加者 48人(本市参加者1人)新潟～熊本の18都府県 申込者 98名</p> <p>大会準備に係る経費 172千円</p> <p>・負担金補助及び交付金 100千円</p>						
関連事業 (同一目的事業等)	なし						

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円 100	100	66	25
		需用費	千円 86	39	0	4
		委託料	千円 27	23	0	0
		役務費	千円 5	9	5	0
		報酬	千円 0	0	0	0
		給料	千円 0	0	0	0
		職員手当等	千円 0	0	0	0
		共済費	千円 0	0	0	0
		災害補償費	千円 0	0	0	0
		その他	千円 36	0	32	1
		小計	千円 254	171	103	30
B	人件費	千円 0	2,000	800	440	
	総事業費(A+B)	千円 254	2,171	903	470	
財源内訳		国支出金	千円 0	0	0	0
		府支出金	千円 0	0	0	0
		国・府支出金コメント				
		地方債	千円 0	0	0	0
		その他特財	千円 0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円 254	2,171	903	470	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000634 くの一武道大会開催事業				
活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
実施回数	目標	回	1	1	1	1
	実績			1	1	1
	単位コスト	円		171.000	103.000	30.000
競技種目数	目標	種目	5	5	5	5
	実績			5	5	5
	単位コスト			34.200	20.600	6.000
	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
メディア取材件数	目標	件	8	8	8	8
	実績			2	0	0
応募者数	目標	人	100	100	100	100
	実績			96	98	99
	目標					
	実績					

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		福知山市と福知山城を全国に発信する事業として非常に有効であり、運営に関しても市民参加を得て取り組むことができている。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		全国から、くの一(女性忍者)が参加し、TVや全国紙、月刊誌等にも取り上げられ、福知山の個性を十分に発信することができる。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		実行委員会主体のイベントであり、NHKや民放各社により毎回ニュースで放映されるなど、マスコミの報道、メディアの露出回数から判断して、本市をPRする事業目的に対しての費用対効果は高い。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 比較的安価な経費での開催であるが、テレビのニュース・新聞等で広く報道されており、本市及び福知山城を全国に発信するための効果は大きい			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
	皆減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000635	福知山「藍のれん」プロジェクト事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成23年度	担当部名	地域振興部						
基本理念	43	観光の振興		担当課	まちづくり推進課						
基本方針	01	地域資源を活性化する		新規継続区分	継続事業						
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業						
施策				自由区分3	棚卸し未実施						
根拠法令	なし										
	構成予算事業			会計	款	項	目				
230107	福知山「藍のれん」プロジェクト事業			01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
事業基本情報	実施方法	国庫補助事業 府補助事業 市単独事業									
		直接実施									
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)									
		補助金 (補助先: 個人・事業主)									
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	商店街や町屋を中心とした賑わいづくり・まちづくりのため、藍染のれんの掲出による景観形成に取り組む。福知山城から中心市街地への回遊性の向上や、誘客促進のため一定区域における街なみの統一的な景観を形成する。										
対象 (誰・何を対象に)	市民 商店街や自治会、地域団体等(市内を対象)										
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	商店街や自治会、地域団体等からの申請により補助金を交付。 補助率 事業費の2分の1(補助金上限 50千円) 軒先への藍のれん掲出による賑わいのあるまちづくりを図り、景観形成を進める。 平成26年度実績 45千円 ・負担金補助及び交付金 45千円(申請件数 1件) 平成26年度から、当該事業を利用した藍のれんの製作から3年が経過した藍のれんの更新についても補助金申請の受付を始める。										
関連事業 (同一目的事業等)	なし										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	負担金補助及び交付金	千円	0	66	45	181
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	A 災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	66	45	181
B	人件費	千円	0	1,200	200	320
	総事業費(A+B)	千円	0	1,266	245	501
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	33	22	0
	国・府支出金コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	0	0	0	0
	地方債・その他特財コメント					
	一般財源	千円	0	1,233	223	501

計画事業評価表

計画事業		000635 福知山「藍のれん」プロジェクト事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	申請件数	目標	件		6	6	6
		実績				1	4
		単位コスト	円			45.000	45.250
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	枚				
		実績					
		単位コスト					
	成果実績	のれん掲出数 (累計)	目標		24	21	15
			実績		129	127	126
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価																																			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		観光等への誘客には、歴史や伝統文化などの地域特性を活用したまちづくりが必要である。																																			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		本市の伝統文化である藍染めを活用することは、まちづくりには有効であり、個性的な景観形成ができる。																																			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		市民の活動を主としたものであり、市民参加を得て効率的な事業となっている。																																			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																			
		D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要)																																			
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>皆減</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止	○	×	×	×	皆減	○	×	×	×	コスト投入の方向性									
成果の方向性	拡充		×																																		
	維持		×			×																															
	縮小		×		×	×																															
	休廃止		○	×	×	×																															
	皆減	○	×	×	×																																
コスト投入の方向性																																					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000881	過疎対策関連事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成22年度	担当部名	地域振興部				
基本理念	61	土地利用および市街地・集落整備			担当課	まちづくり推進課			
基本方針	04	集落環境を保全・整備する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	過疎地域自立促進特別措置法 福知山市過疎地域自立促進基金条例								
構成予算事業				会計	款	項	目		
520104	全国過疎地域自立促進連盟関連事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
520105	過疎地域自立促進基金造成事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	地域交流推進費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		<p>全国過疎対策自立区促進連盟関連事業 全国の過疎対策関係市が所属する全国改組対策自立促進連盟への参加</p> <p>過疎対策自立促進基金造成事業 過疎地域自立促進特別措置法の法改正により、地域活性化、安心安全な地域社会の実現に資するソフト事業及びその財源とするための基金造成にも地方債が利用できるようになったことから、過疎債(及び生じる利子)を原資とした基金を設置した。</p>							
対象 (誰・何を対象に)		過疎地域(三和町・夜久野町・大江町)							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		<p>全国過疎対策自立区促進連盟関連事業 全国過疎対策自立促進連盟負担金と総会参加旅費 平成27年度実績 負担金94,500円 旅費14,240円</p> <p>過疎対策自立促進基金造成事業 過疎地域自立促進市町村計画において、過疎地域自立促進特別事業として位置づけたソフト事業の財源として、基金積立を行う。 財源：過疎対策債 平成27年度積立金 176,900千円</p>							
関連事業 (同一目的事業等)									

事業計画額	コスト	積立金	千円	172,400	176,900	177,400	173,000
		負担金補助及び交付金	千円	82	95	80	76
		旅費	千円	142	14	0	43
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	3	0
小計	千円	172,624	177,009	177,483	173,119		
B	人件費	千円	0	5,200	0	0	
総事業費(A+B)		千円	172,624	182,209	177,483	173,119	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	172,400	176,900	177,400	173,000	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
地方債・その他特財コメント							
一般財源	千円	224	5,309	83	119		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000636 厚生会館運営事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	地域振興部		
基本理念	75	文化・スポーツ活動の推進				担当課	まちづくり推進課		
基本方針	01	文化活動を振興する				新規継続区分	継続事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計		款		項		目
650318	厚生会館管理運営事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費
650202	厚生会館 文化芸術振興自主事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
	直接実施								
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
	補助金 (補助先: 文化公演自主事業実行委員会)								
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 市民の文化、厚生、産業等の向上及び振興に寄与し、市内最大規模の舞台・客席を持つホールとして、舞台芸術を中心とした文化の拠点として利用促進と情報発信を行う。市民に芸術活動の発表の場と鑑賞の機会を提供し、市民文化の向上につなげる。多目的ホールとして公共・民間の各種催事の開催運営が円滑に行える状態を維持する。 厚生会館の利用促進及び文化の拠点施設としての充実を図り、地域の文化振興を図るため厚生会館の自主運営事業としてクラシックコンサート(新垣隆・磯絵里子出演)の開催、ガラコンサート(福知山近郊演奏家出演)、スタインウェイ(厚生会館備品ピアノ)を弾いてみよう等からなる厚生会館文化芸術振興自主事業を実施。								
対象	(誰・何を対象に) 市民 施設利用者(市内・市外を対象。営利・非営利) 出演者(市内・市外を対象) 入場者(市内・市外を対象)								
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 厚生会館の施設・設備維持管理、受付・案内業務、施設利用の申請・許可業務。文化事業の企画運営を実施。 平成27年度実績 16,911千円 ・厚生会館管理運営事業 16,207千円 需用費7,229,709円、役務費232,873円、委託料8,610,914円、使用料及び賃借料111,454円、備品購入費17,064円、負担金補助及び交付金5,000円(京都府公立文化施設協議会) ・厚生会館文化芸術振興自主事業 704千円 需用費58,428円、委託料46,000円、交付金600,000円(文化公演自主事業実行委員会)								
関連事業	(同一目的事業等)								
事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度			
		委託料	千円	8,751	8,657	8,302	8,042		
		需用費	千円	8,007	7,288	7,523	7,736		
		負担金補助及び交付金	千円	605	605	605	605		
		役務費	千円	349	233	320	269		
		使用料及び賃借料	千円	105	111	109	0		
		備品購入費	千円	142	17	179	0		
		報酬	千円	0	0	0	0		
		給料	千円	0	0	0	0		
		職員手当等	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	370			
	小計	千円	17,959	16,911	17,038	17,022			
	人件費	千円	0	9,980	10,564	12,460			
	総事業費(A+B)	千円	17,959	26,891	27,602	29,482			
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0			
	府支出金	千円	0	0	0	0			
	国・府支出金コメント								
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他特財	千円	16,138	13,563	16,371	16,751			
地方債・その他特財コメント									
一般財源	千円	1,821	13,328	11,231	12,731				

計画事業評価表

計画事業		000636 厚生会館運営事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	施設利用件数	件	1,300	1,500	900	870
	実績		1285	1465	828	
	単位コスト	円	13.160	11.630	20.558	
文化振興事業 実施件数	目標	4	6	5	4	
	実績		3	3	4	
	単位コスト		5637.000	5679.333	4255.500	
	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
施設使用料	目標	円	17,000,000	17,500,000	17,500,000	17,000,000
	実績			12,276,920	15,173,032	15010010
施設利用者数	目標	人	75,000	80,000	80,000	78,000
	実績			61,104	78,829	74,737
	目標					
	実績					

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		市内最大のホールとして他に代替施設もなく、必要性は高い。また、文化公演自主事業により、都会に行かなくても優れた音楽を聞く機会を提供する。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		公的利用、民間利用、営利、非営利ともに土日の利用はほぼ100%に近い状態で、有効に活用されている。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		受益者負担の原則から使用料負担により、年間事業費の約75%、自動販売機の貸付等収入で約5%の収入を確保しており、効率的な運用が図られている。 厚生会館文化芸術振興自主事業等と連携し、利用が少ない夏季期間の空き室の有効活用等を図っている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要) 基本設計・実施設計及び耐震診断を行い、平成28年度工事着工に向け準備している。改修後には指定管理者制度の導入、使用料金を含めた条例の見直しを図り、市民への利便性を図る。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡充
コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000637	ジュニア文化振興事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	地域振興部						
基本理念	75	文化・スポーツ活動の推進			担当課	まちづくり推進課					
基本方針	01	文化活動を振興する			新規継続区分	継続事業					
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業					
施策					自由区分3	棚卸し未実施					
根拠法令	なし										
構成予算事業			会計		款		項		目		
650216	福知山市ジュニア文化賞表彰事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費		
650217	ジュニア文化全国大会等出場激励金交付事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費		
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業					
実施方法		直接実施									
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)									
実施方法		補助金 (補助先: 被出場者)									
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		高校生以下のジュニアを対象に全国大会で優秀な成績を収めた者を表彰する福知山市ジュニア文化賞表彰事業。 。全国大会に出場する選手を激励し、次世代を担う後継者の育成に努めるジュニア文化全国大会等出場激励金交付事業を実施。									
対象 (誰・何を対象に)		市内に在住・在学する小学生(ジュニア文化賞)・中学生及び高校生									
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		ジュニア文化賞は各学校ならびに文化協会からの推薦を受け、選考委員会で決定。 ・表彰内容: 表彰状及び記念品 激励金は各学校または個人からの申請にもとづき審査の上、助成の可否を決定する。 ・激励金: 個人10,000円 団体100,000円(1団体あたり、10人以上) 平成27年度実績 194千円 ・福知山市ジュニア文化賞表彰事業 14千円 報酬5,000円 需用費8,985円 平成27年度1名 ・ジュニア文化活動全国大会等出場激励金交付事業 180千円 負担金補助及び交付金 180,000円(個人2件20,000円、団体2件160,000円)									
関連事業 (同一目的事業等)											

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	300	180	180	250
		需用費	千円	83	9	8	17
		報酬	千円	15	5	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	18	0	5	7
	小計	千円	416	194	193	274	
	B	人件費	千円	0	1,520	680	616
	総事業費(A+B)	千円	416	1,714	873	890	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	402	194	193	23	
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	14	1,520	680	867	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000637 ジュニア文化振興事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	文化賞委員会	目標		1	1	1
		実績	回	1	4	1
		単位コスト	円	194.000	48.250	274.000
	助成金申請件数	目標		6	5	5
		実績	件	4	8	5
		単位コスト		48.500	24.125	54.800
成果実績	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
文化賞表彰件数	目標		1団体5個人	1団体5個人	1団体5個人	
	実績	件	1個人	1個人	2個人	
助成金助成件数	目標		6	5	5	
	実績	件	4	8	5	
目標						
実績						

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	次世代育成の事業として必要性は高い。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	若年層の文化の底上げを図るため有効。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	文化賞は推薦制、全国大会出場助成は申請制であり、事務効率は高い。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 制度の普及を図るとともに、文化賞の表彰基準が大会によって異なるため、柔軟に対応していく必要がある。また、学校外で個人で活動されている競技について把握できかねる。広く周知していく必要がある。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000638	市展事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度		担当部名	地域振興部			
基本理念	75	文化・スポーツ活動の推進			担当課	まちづくり推進課			
基本方針	01	文化活動を振興する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計	款	項	目			
650203	市展事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		多くの市民が芸術活動・創作活動に主体的に参画し、また、発表・鑑賞できる豊かな感性を持った地域社会を構築する。 市民に創作活動の発表の場と文化芸術に親しむ機会を提供し、市民の自主的な文化・芸術活動が広範かつ積極的に行われる。							
対象 (誰・何を対象に)		市民 出品者(三たん地域のアマチュア芸術愛好者) 入場者(市内・市外を対象)							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		三たん地域を対象に作品を募集、審査のうえ、入選以上の作品を会場に展示する。運営は市民有識者により、組織する市展運営委員会と事務局による。絵画、彫刻、工芸、写真、書の5部門。毎年、文化の日を中心に展示開催。会場：福知山市厚生会館(大ホール、舞台、中会議室、小会議室(2)、2階控室)。 平成27年度実績 3,845千円 報酬100,000円、賃金254,254円 報償費963,220円、需用費 701,870円、役務費303,494円、委託料637,384円、使用料及び賃借料884,980円							
関連事業 (同一目的事業等)		佐藤太清記念美術館特別展事業、厚生会館文化芸術振興自主事業							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	報償費	千円	1,010	963	903	0
		使用料及び賃借料	千円	900	885	905	0
		需用費	千円	656	702	786	639
		委託料	千円	594	637	637	586
		役務費	千円	251	304	276	284
		賃金	千円	149	254	0	0
		報酬	千円	120	100	105	852
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	984
	小計	千円	3,680	3,845	3,612	3,345	
	B	人件費	千円	0	2,240	3,360	3,160
	総事業費(A+B)	千円	3,680	6,085	6,972	6,505	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	3,605	986	3,861	3,077	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	75	5,099	3,111	3,428	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		市展事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
市展開催	目標		1	1	1	
	実績		1	1	1	
	単位コスト	円	3845.000	3612.000	3345.000	
	目標					
	実績					
	単位コスト					
	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
出品者数	目標		500	500	480	
	実績		409	408	412	
	来場者数	目標		3500	3,100	3,000
		実績		2915	3392	3,038
		目標				
		実績				

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	本市を代表する文化事業として広く認知され、全市的かつ三たん地域(丹後・丹波・但馬)の公募美術展として定着をしている。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	市展入選・入賞が市民の目標になっており、市民の文化活動推進のために有効な事業となっている。高校生や初心者も安価で出品することができ、次世代への投資・人材育成の場となっている。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	共催団体との連携、業務委託によりさらに効率化を図る。またこれまで職員を動員して会場の設営・展示・撤収作業を行っていたが、H25年度より専門業者に委託することにより展示の正確性、業務委託費用はかかるが、勤務時間中に職員を派遣することによる人件費の節減が図れる。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 三たん地域の過疎化・人口減少の中、成果目標数値を維持できているのは、60歳以上の出品者の創作活動に支えられている。高校生世代にも出品を呼びかけるために学校訪問を行う。出品者の増加と来場者の増加を目指す。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×			×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000639	中丹文化芸術祭事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度		担当部名	地域振興部				
基本理念	75	文化・スポーツ活動の推進			担当課	まちづくり推進課				
基本方針	01	文化活動を振興する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
650208	中丹文化芸術祭事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費
実施方法	国庫補助事業 府補助事業 市単独事業									
	直接実施									
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)									
	補助金 (補助先: 中丹文化芸術祭実行委員会)									
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	市民が芸術活動・創作活動に主体的に参画して作り上げ、また発表・鑑賞することによって、豊かな感性を持った心豊かな地域社会を構築する。また、優れた芸術鑑賞の機会を提供するとともに、中丹・丹後地域の文化団体の文化交流によって、新たな文化創造を行う。									
対象 (誰・何を対象に)	市民 文化活動団体 事業参加者(市内・市外を対象)									
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	中丹3市と中丹文化事業団の共催で、市民及び文化団体の舞台芸術や創作活動の総合的な発表機会を提供する。文化団体も含めた実行委員会を組織して実施する。開催場所は、3市で分担し、3市が持ち回りで事務局を担当する。 平成27年度実績 462千円 委託料0円、使用料及び賃借料61,900円、負担金補助及び交付金400,000円(中丹文化芸術祭実行委員会)									
関連事業 (同一目的事業等)	なし									
コスト	A	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度				
		負担金補助及び交付金	千円	400	400	650	950			
		使用料及び賃借料	千円	249	62	268	0			
		報酬	千円	0	0	0	0			
		給料	千円	0	0	0	0			
		職員手当等	千円	0	0	0	0			
		共済費	千円	0	0	0	0			
		災害補償費	千円	0	0	0	0			
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0			
		賃金	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	26	0	26	270				
	小計	千円	675	462	944	1,220				
	B	人件費	千円	0	640	240	880			
	総事業費(A+B)	千円	675	1,102	1,184	2,100				
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	550				
	府支出金	千円	0	0	0	0				
	国・府支出金コメント									
	地方債	千円	0	0	0	0				
	その他特財	千円	0	0	0	0				
地方債・その他特財コメント										
一般財源	千円	675	1,102	1,184	1,550					

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000639 中丹文化芸術祭事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	開催種目数	目標	回		9	10	10
		実績		9	8	10	
		単位コスト		円	51.333	118.000	122.000
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	人		2300	2,000	2,000
		実績		1580	2240	2,300	
		単位コスト					
	出演者数	目標	人		6000	7,000	7,000
		実績		2613	4209	8,800	
単位コスト							
入場者数	目標	人					
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		市民の文化活動の広域交流の場として定着しており、周辺他市との交流・共同は貴重な機会となっている。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		既存の大人の出演種目にあわせ、ジュニア文化祭等次世代育成も視野に入れた事業が展開されており、他団体との共催などによりレベルアップの動機づけや活動の振興の機会として有効性は高い。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		実行委員会により運営されている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 3市ならびに京都府の補助金で運営している。京都府の補助金の性質上、従来の中丹文化芸術祭と中丹文化交流フェスタの2つにわけ、中丹総合芸術祭を開催する。団体の高齢化がひとつの課題であり、幼児期からの関わりや取組が次世代の育成に必要となっている。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×	○		×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000640 佐藤太清美術館運営事業（公募美術展）									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成13年度			担当部名	地域振興部			
基本理念	75	文化・スポーツ活動の推進				担当課	まちづくり推進課			
基本方針	01	文化活動を振興する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
650205	佐藤太清賞公募美術展事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法			直接実施							
実施方法			業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者：）							
実施方法			補助金（補助先：）							
事務事業の意図 （どのような状態にしたいか）			福知山市固有の資産である名誉市民佐藤太清画伯の顕彰と文化芸術に携わる人材を育成する。北近畿の中核都市に相応しい本市の文化的イメージの向上と全国的な情報を発信する。市民が誇りの持てる福知山市を確立する。							
対象 （誰・何を対象に）			市民 出品者（芸術を志す全国の高校生・大学生を中心とする16歳から27歳までの方） 入場者（市内・市外を対象）							
事業内容 （手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください）			全国規模で高校生・大学生等を対象として絵画・日本画の公募美術展を開催する。入選以上の作品については福知山・横浜・東京・京都・名古屋の各会場で巡回展示を行う。 平成27年度実績 12,684千円 報償費2,750,000円、旅費795,740円、需用費504,803円、役務費175,511円、委託料6,683,400円、使用料及び賃借料1,774,154円							
関連事業 （同一目的事業等）			佐藤太清記念美術館管理運営事業							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	委託料	千円	6,767	6,683	6,559	6,504
		報償費	千円	2,800	2,750	0	0
		使用料及び賃借料	千円	1,554	1,774	0	0
		旅費	千円	824	796	0	0
		需用費	千円	396	505	457	427
		役務費	千円	159	176	260	166
		報酬	千円	0	0	2,750	2,550
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	2,581	2,357
	小計	千円	12,500	12,684	12,607	12,004	
	B	人件費	千円	0	2,080	1,640	1,842
総事業費(A+B)		千円	12,500	14,764	14,247	13,846	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	10,030	16,237	0	9,244	
地方債・その他特財コメント							
一般財源		千円	2,470	-1,473	14,247	4,602	

計画事業評価表

計画事業		000640 佐藤太清美術館運営事業（公募美術展）						
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		美術展の開催	目標	回	1	1	1	1
			実績		1	1	1	1
			単位コスト	円	12500.000	12684.000	12607.000	12004.000
		目標						
		実績						
		単位コスト						
		目標						
		実績						
	単位コスト							
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		出品者数	目標	人	250	250	250	250
実績					198	161	175	
入場者数		目標	人	2,500	2,500	2,500	2,500	
		実績			1762	2127	1837	
目標								
実績								

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>（市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から）</small>		日本各地から応募があり、若手の登竜門として定着した。トップの賞を受賞した作家や、毎年出品し実績を重ねてこられた作家の中には日展作家として活躍、個展を開かれたりと画業を生業とされる方も輩出しており、略歴に「福知山市佐藤太清賞受賞」等紹介されるなど、福知山市のPRにつながっている。			
事業の有効性 <small>（上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から）</small>		文化事業として本市独自の資産を活用して全国的に情報発信ができる重要な事業である。地元高校生の出品等もあり次世代育成となっている。			
事業の効率性 <small>（有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から）</small>		事務局機能を業務委託することにより、複雑かつ専門的な業務の効率化を進めている。			
コストと成果の方向性		事業の評価（今後の事業の方向性、課題等）			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 基金の残高も勘案し、終期・継続も見据えた運営・実施を図る。出品者の増を図るため、大学・専門学校等への案内の徹底を図るとともに、市内出品者が増えるよう各高校への周知を図っていく。入場者数の増加に向けて、各会場でのPR方法の検討を行い、専門誌等への有効な広報活動等を行い、福知山市のPRを図る必要がある。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性					

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000641	佐藤太清美術館運営事業（特別展）								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成22年度			担当部名	地域振興部			
基本理念	75	文化・スポーツ活動の推進				担当課	まちづくり推進課			
基本方針	01	文化活動を振興する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
650210	佐藤太清記念美術館特別展事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費	
650206	佐藤太清美術館特別展（地方創生先行型）	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
		直接実施								
		業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者：）								
		補助金（補助先：）								
事務事業の意図 （どのような状態にしたいか）		著名な作家の作品による特別展の開催により、芸術文化を振興し、絵画愛好者の底辺を広げる。また、ギャラリートークを開催し入館者の増加を図る。								
対象 （誰・何を対象に）		市民 入館者（全国を対象）								
事業内容 （手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください）		H26繰越H27事業（地方創生先行型） 戦後70年を記念して、人・絆・平和をテーマとした創作絵本コンテストを開催する。また、絵本作家荒井良二の原画展を行い、図書館事業等と共催企画を実施する。さらに企画展として市展委嘱作家展や高校アート展等身近な作家による展覧会を実施する。 平成27年度実績 3,082千円 報償費406,000円、旅費217,520円、需用費1,270,904円、役務費416,053円、委託料260,568円、使用料及び賃借料511,000円								
関連事業 （同一目的事業等）		佐藤太清記念美術館管理運営事業、佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業、市展事業								

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	560	1,271	847	1,939
		使用料及び賃借料	千円	52	511	0	0
		役務費	千円	322	416	429	402
		報償費	千円	120	406	0	0
		委託料	千円	2,119	261	65	688
		旅費	千円	257	217	0	0
		報酬	千円	0	0	60	70
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	1,539	25,193
	小計	千円	3,430	3,082	2,940	28,292	
財源内訳	B	人件費	千円	0	4,310	3,264	3,339
		総事業費(A+B)	千円	3,430	7,392	6,204	31,631
		国支出金	千円	1,175	0	0	0
		府支出金	千円	0	0	0	0
		国・府支出金 コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
財源内訳	地方債・その他特財 コメント	その他特財	千円	2,255	0	0	2,800
		一般財源	千円	0	7,392	6,204	28,831

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000641 佐藤太清美術館運営事業（特別展）					
事業実績と成果	活動指標名 特別展の開催	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		目標	回	2	2	1	1
		実績			2	1	1
	単位コスト	円		1541.000	2940.000	28292.000	
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果実績	成果指標名 期間中の入館者数	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
			目標	人	2,000	2000	1,400
実績				2,433	4,259	3,000	
目標							
実績							
単位コスト							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>（市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から）</small>		市民が美術館で優れた芸術を鑑賞する機会を創出し、芸術に親しみ人間性を豊かにする事業として必要である。			
事業の有効性 <small>（上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から）</small>		佐藤太清画伯の作品の他、芸術性が高い作品を市民に親しんでもらう場として有効である。			
事業の効率性 <small>（有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から）</small>		絵本を通して子どもから大人まで親しみの持てる展示を実施する。			
コストと成果の方向性		事業の評価（今後の事業の方向性、課題等）			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 美術館所蔵品以外の著名な作品、市民が親しみやすい作品に触れる機会の創出を図る。図書館等関係施設と連携を図りながら、絵画愛好家の裾野を広げ、親しみの持てる展示を行う。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
休廃止	縮小	×		×	×
	皆減		×	×	×
コスト投入の方向性		縮小	維持	拡大	

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000642	佐藤太清美術館運営事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成2年度	担当部名	地域振興部					
基本理念	75	文化・スポーツ活動の推進			担当課	まちづくり推進課				
基本方針	01	文化活動を振興する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	福知山市佐藤太清記念美術館条例									
構成予算事業			会計		款		項		目	
650306	佐藤太清記念美術館管理運営事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費	
650302	佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費	
650346	美術館付属施設整備事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
実施方法		補助金 (補助先:)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		日本画家佐藤太清の作品を中心とした美術品及び美術に関する資料等の収集保管及び活用を図り、市民文化の発展に寄与し、市民に優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供し、本市の文化的な情報発信をおこない、文化的イメージアップを図る。 名誉市民佐藤太清画伯を顕彰する。								
対象 (誰・何を対象に)		市民、入館者(全国を対象)、全利用者								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		福知山市佐藤太清記念美術館の管理運営を行う。作品の収集保管・展示ならびに市民公募の絵画展、美術館コンサート開催、日展鑑賞会、ワークショップ等普及事業の開催。また、収蔵作品の修理・額装を行う。 男子トイレ 和式1 様式1、女子トイレ 和式3 様式2、段差解消、手摺設置、夜間自動感知照明設置 平成27年度実績 10,629千円 ・佐藤太清記念美術館管理運営事業 7,719千円 旅費42,440円、需用費4,613,792円、役務費358,710円、委託料2,591,160円、 使用料及び賃借料102,963円、積立金10,000円 ・佐藤太清記念美術館企画・展示品等充実事業 928千円 報償費20,000円、旅費2,200円、需用費215,312円、役務費79,123円、委託料560,680円、 使用料及び賃借料51,180円 ・美術館付属施設整備事業 1,982千円 工事請負費1,981,800円 (平成26年度繰越)								
関連事業 (同一目的事業等)		佐藤太清賞公募美術展事業、佐藤太清記念美術館特別展事業、市展事業								

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	5,091	4,829	5,496	5,629
		委託料	千円	3,504	3,152	2,955	2,826
		工事請負費	千円	1,800	1,982	0	0
		役務費	千円	504	438	468	410
		使用料及び賃借料	千円	123	154	212	0
		旅費	千円	34	44	62	0
		報償費	千円	170	20	169	0
		積立金	千円	1,000	10	0	0
		報酬	千円	0	0	0	19
		その他	千円	110	0	39	231
	小計	千円	12,336	10,629	9,401	9,115	
	B	人件費	千円	0	10,225	7,940	9,150
	総事業費(A+B)	千円	12,336	20,854	17,341	18,265	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	5,679	2,051	3,946	3,254	
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	6,657	18,803	13,395	15,011	

計画事業評価表

計画事業		000642 佐藤太清美術館運営事業					
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	開館日数	目標	日	295	295	295	294
		実績			290	293	296
		単位コスト		円		36.652	32.085
	コンサート・鑑賞会の開催	目標	回	2	2	2	2
		実績			2	2	2
		単位コスト			5314.500	4700.500	4557.500
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
入館者数	目標	人	9,000	7,000	8,000	6,800	
	実績			8,583	10583	6,301	
コンサート入場者数	目標	人	100	100	100	100	
	実績			74	73	79	
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																																				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		京都府北部随一の美術館として、福知山市の文化水準を全国に発信するための存在意義は大きい。また、美術館は絵画の展示だけではなく、美術館環境を活用した普及事業も求められるところであり、コンサートの開催は市民にも定着している。また、日展鑑賞会の見学は多様な芸術分野の全国的な芸術の世界に触れる機会を創出する事業として市民ニーズは高い。																																				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		美術館は全国的に情報発信できる福知山市固有の文化的資産を有しており、福知山市の対外的な文化的イメージの向上をはかる数少ない事業である。高校美術展を開催したり、関連事業とも連携し次世代育成としても有効である。																																				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		嘱託職員を中心に運営しており施設管理等は効率的におこなっている。額装等、専門性を要するものは業者委託、企画運営は美術館職員を中心として効率的に運営している。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 市民ニーズに合致した運営を図っていくことと、図書館、学校等関連事業とともに連携して入館者数増につながる魅力ある特別展・展示内容が必要であり、展示計画を策定して進めていく。 佐藤太清賞公募美術展、美術館特別展事業、企画展示品等充実事業と連携して進めていく。			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000643	郷土資料館運営事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	地域振興部					
基本理念	75	文化・スポーツ活動の推進			担当課	まちづくり推進課				
基本方針	01	文化活動を振興する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
650303	郷土資料館管理運営事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費	
650224	福知山城魅力創出事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費	
650312	福知山城公園観光駐車場管理運営事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費	
650304	郷土資料館展示品等充実事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
		直接実施								
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
		補助金 (補助先:)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		本市を代表する歴史的建造物でシンボルである福知山城の適正な維持管理を行う。歴史資料、民俗資料、考古資料等の保存及び活用を図り、市民文化の発展に寄与する。市民や来館者へ、福知山城と郷土の歴史や特色を紹介し、福知山に対する理解の深化と愛着を深める。								
対象 (誰・何を対象に)		市民 入館者(全国を対象) 施設利用者(市内・市外を対象)								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		施設・設備の管理・整備。受付・案内業務。歴史資料・郷土資料の収集・整理・補完、特別展・企画展の企画・開催・運営、講演会・講座の企画・開催・運営を行う。福知山城関連のイベントへの協力。 郷土資料館運営事業 8,119千円 ・郷土資料館管理運営事業 平成27年度実績 6,895千円 報償費20,000円、旅費7,120円、需用費3,488,017円、役務費697,020円、委託料2,254,142円、使用料及び賃借料65,002円、備品購入費147,528円、積立金191,111円、負担金補助交付金25,000円(全国城郭管理者協議会) ・福知山城公園観光駐車場管理運営事業 平成27年度実績 1,091千円 需用費521,700円、役務費6,312円、委託料562,608円 ・福知山城魅力創出事業 平成27年度実績 133千円 報償費50,000円、旅費83,520円								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	5,066	4,010	2,561	3,234
		委託料	千円	2,754	2,817	2,773	2,712
		役務費	千円	1,708	703	466	398
		積立金	千円	1,100	191	50	0
		備品購入費	千円	1,077	148	0	0
		旅費	千円	189	90	107	0
		報償費	千円	70	70	70	0
		使用料及び賃借料	千円	76	65	65	0
		負担金補助及び交付金	千円	47	25	25	25
		その他	千円	400	0	585	1,895
	小計	千円	12,487	8,119	6,702	8,284	
	B	人件費	千円	0	13,375	10,700	8,050
	総事業費(A+B)	千円	12,487	21,494	17,402	16,334	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	12,170	8,636	7,860	11,493	
	地方債・その他特財コメント						
	一般財源	千円	317	12,858	9,542	4,841	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000643 郷土資料館運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	開館日数	目標	日	308	308	308	308
		実績			310	308	309
		単位コスト		円		26.190	21.760
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	入館者数	目標	人	40,000	35,000	30,000	25,000
実績				40,762	34,641	35,440	
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		本市のランドマークとして広く親しまれており、市民のシンボルとして必要である。また、本市の歴史を紹介する数少ない施設であり代替性がない。	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		本市の歴史や成り立ちを小中学生が学習する場となっており、郷土に対する理解と愛着をもつために有効であり、かつ観光資源としての価値も高い。多数の資料が展示されており、歴史的博物館としての側面もある。	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		入館料収入と施設管理費のバランスがとれている。嘱託職員による運営である。市内研究団体と協働することで知識の共有、関係の強化を図ることができ、企画・運営にあたっては協力をいただくことができ、効率的である。	
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)	
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 郷土資料館(福知山城)は本市を代表する観光資源であるが、本来は社会教育施設であり、郷土資料館の重要な役割である収蔵資料の適切な管理・展示企画ができる運営者は限定される。指定管理者制度の導入を検討してきたが、引き続き直営施設として運営する。平成28年度に天守閣再建30周年を迎え、施設の老朽化が見られるため、修繕・改修等の対策が必要である。	
成果の方向性	拡充 × ○ 維持 × × 縮小 × × 休廃止 × ×	皆減 縮小 <u>維持</u> 拡大 コスト投入の方向性	

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000644	市民文化活動推進事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成20年度			担当部名	地域振興部			
基本理念	75	文化・スポーツ活動の推進				担当課	まちづくり推進課			
基本方針	01	文化活動を振興する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計		款		項		目	
650209	市民文化活動推進事業他文化振興関連事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者:)							
補助金			(補助先: 公益社団法人福知山市文化協会)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			多くの市民が文化芸術活動・創作活動に自発的・主体的に参画し、また発表・鑑賞できる豊かな感性を持った地域社会を構築する。 各種事業が市民の自発的・主体的な参画により企画・運営される。 また、当課の共催事業にもなっている。							
対象 (誰・何を対象に)			市民 文化団体(文化協会等) 事業参加者(市内・市外を対象)							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			施設運営全般、事業運営全般における事務処理等管理運営を行う。文化団体等による文化事業の後援等により本市の文化振興の一助となる。 公益社団法人福知山市文化協会に運営補助をすることにより、文化事業の実施、文化団体の育成を図っている文化協会の運営協力、運営補助金・共催事業負担金。事務局機能の強化を図り自主財源の確保等、組織の自立を図る。 平成27年度実績 市民文化活動推進事業他文化振興関連経費 4,333千円 旅費2,600円、需用費437,449円、役務費107,678円、委託料178,560円、使用料及び賃借料287,596円、備品購入費23,760円、負担金補助及び交付金3,296,000円(文化協会) 賃金681千円については産休職員賃金であるため計上しない。							
関連事業 (同一目的事業等)			なし							

コスト	A	負担金補助及び交付金	千円	平成28年度	3,596	平成27年度	3,296	平成26年度	3,296	平成25年度	5,096
		需用費	千円	424	437	307	450				
		使用料及び賃借料	千円	389	287	427	0				
		委託料	千円	166	178	176	167				
		役務費	千円	196	108	137	203				
		備品購入費	千円	30	24	0	0				
		旅費	千円	15	3	14	0				
		報酬	千円	0	0	0	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	925				
		小計	千円	4,816	4,333	4,357	6,841				
	B	人件費	千円	0	3,040	1,680	640				
		総事業費(A+B)	千円	4,816	7,373	6,037	7,481				
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0				
		府支出金	千円	0	0	0	0				
		国・府支出金 コメント									
		地方債	千円	0	0	0	0				
		その他特財	千円	337	305	284	543				
	地方債・その他特財 コメント										
		一般財源	千円	4,479	7,068	5,753	6,938				

計画事業評価表

計画事業		000644 市民文化活動推進事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	文化協会との共催事業数	目標	件	10	10	10	8
		実績			7	7	8
		単位コスト		円		716.286	622.429
	文化協会加盟団体数	目標	件	45	40	38	38
		実績			43	37	37
		単位コスト			116.605	117.757	184.892
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
共催事業参加者数	目標	人	12,000	12,000	8,000	8,000	
	実績			10,725	10,773	7,060	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		本事業は、本市の市民文化活動を支える基本的な枠組み維持のための事業であり、必要である。	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		市民の自主的な活動を支援しており、有効である。	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		市民の自主的な活動を支援しており、有効である。自主的な活動を主軸とした展開をしており、行政の関与は少なく、文化協会実施事業であるため、市直営事業の補完となり、効率性も高い。	
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)	
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要)	
成果の方向性	拡充 <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	維持 <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	縮小 <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	休廃止 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	皆減 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
コスト投入の方向性		公益社団法人福知山市文化協会を窓口として、共催事業(共催事業負担金)を実施している。合併時に市文協と3町文協の調整ができておらず、合併していない。市としては文協を窓口一本化とし、3町文協からの要望等があれば、市文協を通してという対応になっている。なお、中丹文化芸術祭は、実行委員会は市文協のみ、幹事会は市文協と3町文協出席という変則的な取扱いになっている。(平成26年度に3町文協と初めて懇談を実施)文化協会運営には事業費補助として「共催事業負担金」、人件費補助として「運営補助金」を支出している。また、別に新町文化センター管理運営の指定管理料として委託料を支出している。平成28年度は文協創立70周年の記念の年にあたり、特別事業補助を予定している。	

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000645	芦田均記念館管理運営事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成14年度	担当部名	地域振興部				
基本理念	75	文化・スポーツ活動の推進			担当課	まちづくり推進課			
基本方針	01	文化活動を振興する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計	款	項	目			
650316	芦田均記念館管理運営事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 芦田均元首相顕彰会)							
実施方法		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		芦田均元首相に関する資料を保存及び活用するとともに、地域文化の向上に寄与する。 福知山市名誉市民である芦田均元総理大臣の事跡を紹介し、顕彰する。							
対象 (誰・何を対象に)		市民 入館者(全国を対象) 施設利用者(市内・市外を対象)							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		施設・設備の管理 平成27年度実績 3,832千円 委託料3,692,600円(指定管理料-芦田均元首相顕彰会) 受付案内、施設使用許可申請業務。 芦田均関係資料の収集・整理・保管・展示。 企画展・関連イベントの企画・開催・運営。 資料展示により、福知山市出身である芦田均元首相を顕彰するため、入館料を無料としている。							
関連事業 (同一目的事業等)		なし							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	委託料	千円	3,693	3,692	2,614	2,541
	役務費	千円	90	29	120	122
	需用費	千円	6	26	912	878
	報酬	千円	0	0	5	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	3,789	3,747	3,651	3,541
B	人件費	千円	0	0	640	536
	総事業費(A+B)	千円	3,789	3,747	4,291	4,077
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財	千円	43	28	54	31
	地方債・その他特財 コメント					
	一般財源	千円	3,746	3,719	4,237	4,046

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000645 芦田均記念館管理運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	開館日数	目標	日	310	310	310	310
		実績			236	256	309
		単位コスト		円		15.877	14.262
	イベント開催日数	目標	回	2	2	2	2
		実績			3	5	2
		単位コスト			1249.000	730.200	1770.500
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	入館者数	目標	3000	3000	3,200	3,200	
		実績		2110	2464	2,809	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		高い業績や社会貢献した郷土出身者を顕彰することは、人材育成の観点からも妥当性の高いものである。				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		芦田均元首相に関する資料帳を保存及び活用するとともに、地域文化の向上に寄与している。				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		効率的な運営を図るため、指定管理者制度を導入している。				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 福知山市初の名誉市民であり、日本国憲法制定など民主国家実現のための大きな功績を残した芦田均元首相の貴重な資料を展示し、その偉業を顕彰し、多くの市民に伝えるための教育施設として重要な施設である。毎年開催されている芦田均元首相に関する講演会や写真展を引き続き開催し、芦田均元首相の功績について学ぶ機会を提供する施設として運営するとともに、支出を抑制するための経費節減に積極的に取り組み業務改善を図る。				
成果の方向性	拡充	x				
	維持	x			x	
	縮小	x		x	x	
	休廃止		x	x	x	
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性						

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000646 丹波生活衣館管理運営事業																									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成14年度	担当部名	地域振興部																					
基本理念	75	文化・スポーツ活動の推進			担当課	まちづくり推進課																				
基本方針	01	文化活動を振興する			新規継続区分	継続事業																				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業																				
施策					自由区分3	棚卸し未実施																				
根拠法令	なし																									
構成予算事業			会計	款	項	目																				
650309	丹波生活衣館管理運営事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費																
650223	丹波生活衣館次世代文化継承発展事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費																
<table border="0" style="width:100%"> <tr> <td style="width:20%">実施方法</td> <td>国庫補助事業</td> <td>府補助事業</td> <td>市単独事業</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">直接実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">補助金 (補助先:)</td> </tr> </table>											実施方法	国庫補助事業	府補助事業	市単独事業		直接実施				業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)				補助金 (補助先:)		
実施方法	国庫補助事業	府補助事業	市単独事業																							
	直接実施																									
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)																									
	補助金 (補助先:)																									
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか) 丹波生活衣の歴史と特色を紹介し、本市の文化発信の拠点とする。地域文化の伝承と活用を通じて、新たな地域文化の創造と情報発信を行う。市民が地域の文化・歴史について理解を深め、愛着と誇りを持つ。																										
対象 (誰・何を対象に) 市民 入館者(全国を対象) 施設利用者(市内・市外を対象)																										
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 施設・設備の管理運営ならびに関連資料の収集・整理・保管、企画展等の企画立案・運営、運営、染織関連の講座、体験等の企画立案・運営。展示スペース(市民ギャラリー)の運営と支援。 平成27年度実績 5,335千円 ・丹波生活衣館管理運営事業 平成27年度実績 4,951千円 賃金1,262,631円、報償費22,500円、需用費1,225,650円、役務費174,390円、委託料754,851円、使用料及び賃借料1,419,684円 備品購入費91,778円 ・丹波生活衣館次世代文化継承発展事業 384千円 報償費 196,318円、需用費184,357円、役務費3,000円																										
関連事業 (同一目的事業等) なし																										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	A	使用料及び賃借料	千円 1,427	1,420	1,426	0
		需用費	千円 1,187	1,410	1,326	1,218
		賃金	千円 1,215	1,262	1,294	0
		委託料	千円 822	755	753	810
		報償費	千円 43	219	137	0
		役務費	千円 216	177	279	224
		備品購入費	千円 110	92	0	0
		報酬	千円 0	0	0	168
		給料	千円 0	0	0	0
		その他	千円 0	0	5	2,986
		小計	千円 5,020	5,335	5,220	5,406
B	人件費	千円 0	6,730	6,840	6,010	
総事業費(A+B)		千円 5,020	12,065	12,060	11,416	
国支出金		千円 0	0	0	380	
府支出金		千円 0	380	380	0	
国・府支出金コメント						
地方債		千円 0	0	0	0	
その他特財		千円 414	192	700	314	
地方債・その他特財コメント						
一般財源		千円 4,606	11,493	10,980	10,722	

事業計画額

財源内訳

計画事業評価表

計画事業		000646 丹波生活衣館管理運営事業						
事業実績と成果	活動実績	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		展示会・講座・教室の回数	目標	回		25	12	10
			実績			22	19	13
			単位コスト		円	242.500	274.737	415.846
		目標						
		実績						
		単位コスト						
		目標						
		実績						
	単位コスト							
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		入館者数	目標	人		10,000	10,000	11,000
実績					7611	8,303	9,456	
施設貸し室件数		目標	件		130	120	121	
		実績			105	121	108	
目標								
実績								

事項		担当課評価				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		丹波生活衣は庶民の服飾資料として全国的に例のないもので、貴重な文化遺産として保存活用していく必要がある。				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		学校等の見学も多く、体験コーナーも充実しており、次世代への投資となっている。貴重な文化遺産を保存する施設として本市の文化イメージの向上に有効である。また、京都府からの委託事業「次世代文化継承・発展事業」として親子体験教室を行った。				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		丹波生活衣振興会の支援をうけ、市民協働で資料の調査・整理をおこなってきたが、平成27年度で解散し、丹波生活衣同好会となったことを受け、今後の運営方法を見直す必要がある。				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)				
事務事業の方向性の組み合わせ		C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要)				
成果の方向性	拡充	x				
	維持	x				x
	縮小	x		x		x
	休廃止		x	x		x
		皆減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性						
丹波生活衣振興会が平成27年度で解散、規模を縮小して丹波生活衣同好会となったため、今後の事業運営方法を見直す時期にさしかかっている。また、館並びに事業の広報につとめ、入館者にギャラリー等貸し館の利用案内を徹底する中で利用率向上を図る。さらに、福知山城・美術館・ゆらのガーデン等周辺施設との情報共有を図り連携を取っていく。						

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000647	治水記念館管理運営等事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成16年度			担当部名	地域振興部		
基本理念	75	文化・スポーツ活動の推進				担当課	まちづくり推進課		
基本方針	01	文化活動を振興する				新規継続区分	継続事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3	棚卸し未実施		
根拠法令	なし								
構成予算事業			会計		款		項		目
650311	治水記念館管理運営事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 柳菱クラブ(施設管理の一部は直営))							
実施方法		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		由良川の水害、治水等に関する歴史的資料及び町屋を保存、活用するとともに、地域文化向上に寄与する。市民や来館者へ水害や治水の歴史や防災情報を紹介し、治水防災に対する理解を深める。							
対象 (誰・何を対象に)		市民 入館者(全国を対象)							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		平成26年度実績 3,501千円 委託料3,320,000円(指定管理料-柳菱クラブ) 施設・設備の管理。 受付案内業務。 企画展・関連イベントの企画・開催・運営。 明治初期に建てられた福知山の典型的な町屋建物であり、歴史的建造物として保存活用する。 防災センターと連携して、水害や治水の歴史・防災情報を紹介することにより市民の防災意識の向上を図る。 より多くの来場者を得て市民全体の意識向上を図るため、入館料は無料としている。							
関連事業 (同一目的事業等)		なし							

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	A	委託料	千円 3,428	3,320	3,320	3,320
		需用費	千円 246	122	36	124
		役務費	千円 59	59	57	51
		報酬	千円 0	0	0	15
		給料	千円 0	0	0	0
		職員手当等	千円 0	0	0	0
		共済費	千円 0	0	0	0
		災害補償費	千円 0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円 0	0	0	0
		その他	千円 0	0	0	0
	小計	千円 3,733	3,501	3,413	3,510	
	B	人件費	千円 0	0	640	536
	総事業費(A+B)	千円 3,733	3,501	4,053	4,046	
財源内訳		国支出金	千円 0	0	0	0
		府支出金	千円 0	0	0	0
		国・府支出金 コメント				
		地方債	千円 0	0	0	0
		その他特財	千円 0	0	0	0
	地方債・その他特財 コメント					
	一般財源	千円 3,733	3,501	4,053	4,046	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000647 治水記念館管理運営等事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	開館日数	目標	日	306	306	306	306
		実績			306	253	305
		単位コスト		円		11.441	13.490
	展示会の回数	目標	回	5	3	3	3
		実績			5	5	9
		単位コスト			700.200	682.600	390.000
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	入館者数	目標	3000	3000	5,300	5,300	
		実績		2974	1781	3,413	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																																				
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		由良川の水害、治水等に関する歴史的資料及び町家を保存活用し、後世に伝えていくことは責務である。地域文化向上に寄与するものであり、妥当性も高い。																																				
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		歴史的建造物である町家建物の保存活用を行い、水害や治水の歴史や防災情報を紹介し、治水防災に対する理解を深めるための有効活用ができています。																																				
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		指定管理者制度を導入し、効率的な運営を図っている。 地元組織が運営に当たることによって、地域と施設が連携して効率的に運営されている。																																				
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																				
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 時間が経過するとともに風化しつつある福知山の水害と水防の歴史を伝える施設としての重要な役割を担っている。 明治初期に建築された福知山市の典型的な町屋建物であり、由良川の水害、治水等に関する歴史的資料とともに保存・活用するための拠点施設であり、菱屋町と下柳町の住民をつなぐ施設としての需要はある。 今後は、防災センターとも連携し、水害や治水の歴史・防災情報を指定管理者「柳菱クラブ」により語り継いでいくことで市民の防災意識の向上にもつなげていく。			
成果の方向性	拡充		×																																			
	維持		×		○	×																																
	縮小		×		×	×																																
	休廃止		×	×	×																																	
		皆減	縮小	維持	拡大																																	
コスト投入の方向性																																						

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000819 新町文化センター管理運営事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度		担当部名	地域振興部				
基本理念	75	文化・スポーツ活動の推進			担当課	まちづくり推進課				
基本方針	01	文化活動を振興する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	なし									
構成予算事業			会計	款	項	目				
650321	新町文化センター管理運営事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業					
	直接実施									
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 公益社団法人福知山市文化協会)									
	補助金 (補助先:)									
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 市民に文化活動の場を提供し、もって市民文化の向上に寄与する。 施設の有効活用。 また一階部分は福知山鉄道館ポッポランド、三階・四階部分は文化資料を所蔵している。									
対象	(誰・何を対象に) 市民 施設利用者(市内を対象)									
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 施設・整備の管理運営を行う。研修その他の文化活動の利用に供する。 平成27年度実績 5,722千円 需用費2,086,751円、役務費 73,406円、委託料 1,927,000円、使用料及び賃借料1,634,545円									
関連事業	(同一目的事業等) なし									
事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度				
		需用費	千円	1,719	2,087	1,913	2,328			
		委託料	千円	1,927	1,927	1,891	1,838			
		使用料及び賃借料	千円	1,639	1,635	1,634	0			
		役務費	千円	83	73	87	97			
		報酬	千円	0	0	5	0			
		給料	千円	0	0	0	0			
		職員手当等	千円	0	0	0	0			
		共済費	千円	0	0	0	0			
		災害補償費	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	1,589				
	小計	千円	5,368	5,722	5,530	5,852				
	B	人件費	千円	0	64,000	976	640			
総事業費(A+B)	千円	5,368	69,722	6,506	6,492					
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0				
	府支出金	千円	0	0	0	0				
	国・府支出金コメント									
	地方債	千円	0	0	0	0				
	その他特財	千円	706	651	681	342				
地方債・その他特財コメント										
一般財源	千円	4,662	69,071	5,825	6,150					

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000819 新町文化センター管理運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	開館日数	目標	日		300	300	300
		実績			285	285	290
		単位コスト		円		20.077	19.404
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用件数	目標	件		600	500	400	
	実績			564	556	587	
	利用人数		人		5500	5,000	4,500
実績		4793		5,157	5,446		
目標							
	実績						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		中心市街地に立地し、文化協会所属団体を中心に活用されており、市民の文化活動の場として必要性は高い。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		中心市街地の文化活動の拠点として活用されており、また指定管理者により事業会場としても有効利用されている。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		賃借料等維持管理費の支出に見合う費用対効果等を検討する時期にある。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 現状は施設の老朽化が進み、耐震化を行っていない建造物である。今後は今回の指定管理期間(H27～H29)終了後、建物の不動産賃貸借契約を締結している株式会社京都銀行に建物を返却する方向で調整する。返却までの間、三階・四階部分に所蔵されている文化資料の収納先及び福知山鉄道館ポットランドの移転先の検討をする必要がある。			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
縮小	×		×	×	
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000854	文化合宿補助事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成26年度			担当部名	地域振興部			
基本理念	75	文化・スポーツ活動の推進				担当課	まちづくり推進課			
基本方針	01	文化活動を振興する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	福知山市文化・スポーツ誘致補助金交付要綱									
構成予算事業			会計		款		項		目	
650221	文化合宿補助事業	01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費	
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
実施方法		直接実施								
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
実施方法		補助金 (補助先:)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		文化合宿により、本市の恵まれた資源を最大限に活用し、市内外の交流促進を図り、地域の活性化につなげ、文化振興と観光振興の融合を図る。								
対象 (誰・何を対象に)		福知山市外に所在する高等学校、大学、短期大学等の正規の文化部及びクラブ並びに学校公認のサークル等								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		合宿の14日前までに、福知山市文化・スポーツ合宿誘致補助金交付申請書に掲げる関係書類を添えて直接提出する。 【補助金交付】 合宿参加者の延べ宿泊日数(土日除く)×2,000円 上限200,000円 平成27年度実績 文化合宿補助事業 538千円 負担金補助及び交付金538,000円								
関連事業 (同一目的事業等)										

事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		負担金補助及び交付金	千円	600	538	600	518
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		小計	千円	600	538	600	518
		B	人件費	千円	0	400	320
総事業費(A+B)	千円	600	938	920	518		
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	600	494	600	518	
地方債・その他特財 コメント							
一般財源	千円	0	444	320	0		

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000854 文化合宿補助事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	合宿件数	目標	5	5	5	
		実績	5	5	4	
		単位コスト	107.600	120.000	129.500	
		目標				
		実績				
		単位コスト				
		目標				
		実績				
		単位コスト				
成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	合宿参加人数	目標	100	100	100	
		実績	104	98	96	
		目標				
		実績				
		目標				
		実績				

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		本市の文化資源を有効に活用し、文化合宿を通して人の交流促進を図り地域の活性化につなげ、「文化振興」と「観光振興」の融合を図る。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		空き施設が多い平日を中心に市内の施設の有効活用を図るとともに、年間を通じた合宿誘致に取り組むために、7月・8月の本市の合宿繁忙期を除く合宿来福者に対して補助金交付要綱に則り補助金を交付し、合宿費用の一部を補完する。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		今後補助金交付要綱を見なおし、さらに適切な取り組みができるようにつとめる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 現在は、旅行会社などを通じて市外の団体へ周知が図られてきた。しかし、書類の提出が非常に遅い団体もあるため、注意を促す必要がある。予算が限られていることもあり、事業の拡大は難しいが、今後は補助金交付要綱を見直し、さらに適切な運営ができるようにしていく必要がある。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000994	丹波福知山明智光秀サミット開催事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成27年度	担当部名	地域振興部					
基本理念	75	文化・スポーツ活動の推進			担当課	まちづくり推進課				
基本方針	01	文化活動を振興する			新規継続区分	新規事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令										
構成予算事業			会計	款	項	目				
650211	丹波福知山明智光秀サミット開催事業		01	一般会計	02	総務費	01	総務管理費	09	文化振興費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者：(株)エヌエイチケイプラネット近畿総支社)							
補助金			(補助先：)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			福知山城天守閣再建30周年を迎える記念の年に、初代城主明智光秀に縁のある市、歴史研究者等とともにパネルディスカッション等行い、戦国歴史舞台福知山を大いに語り合う。							
対象 (誰・何を対象に)			市民 参加応募者(市内・市外を対象)							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			福知山城天守閣再建30周年記念「丹波福知山明智光秀サミット」を開催する。 運営・シナリオ等を業者委託し実施する。 平成27年度実績 262千円 旅費21,060円、需用費166,752円、役務費74,071円 平成28年度債務負担行為 4,000千円(運営業務委託分)							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	50	167	0	0
		役務費	千円	0	74	0	0
		旅費	千円	141	21	0	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	4,683	0	0	0
	小計	千円	4,874	262	0	0	
	B	人件費	千円	0	2,000	0	0
	総事業費(A+B)	千円	4,874	2,262	0	0	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	2,437	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	0	0	0	0	
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	2,437	2,262	0	0	

計画事業評価表

計画事業		000994 丹波福知山明智光秀サミット開催事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	サミットの開催	目標	回	1	0			
		実績			0			
		単位コスト	円					
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標名	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		入場者数	目標	人	1,000	0		
実績					0			
		目標						
		実績						
		目標						
	実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		福知山の光秀を再検討する機会とし、戦国歴史舞台である福知山城の魅力を高める。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		市民とともに福知山城、明智光秀について大いに語り合うことで、NHK大河ドラマ誘致に向けた盛り上がりにつなげる。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		運営・企画等を業務委託することにより、専門的な業務の効率化・集客力強化を進めている。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 福知山城天守閣30周年を迎える平成28年度にサミットを開催するため、運營業務委託を公募型プロポーザルにより実施し、開催に向けての準備を行った。			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000980 厚生会館改修事業	
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度 平成27年度
担当部名	地域振興部	
基本理念	75 文化・スポーツ活動の推進	担当課 まちづくり推進課
基本方針	03 文化・スポーツ施設を整備する	新規継続区分 新規事業
施策の大綱		実施計画区分 実施計画事業
施策		自由区分3 棚卸し未実施
根拠法令		
構成予算事業		
650373 厚生会館改修事業	01 一般会計	02 総務費 01 総務管理費 09 文化振興費
国庫補助事業 府補助事業 市単独事業 直接実施 業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:) 補助金 (補助先:)		
実施方法	厚生会館改修について、各種関係団体の意向に沿うよう、基本設計・実施設計を行ない改修箇所の整理を行う。	
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		
対象 (誰・何を対象に)	市民 施設利用者	
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	厚生会館改修箇所の整理を行うため、基本設計・実施設計及び耐震診断を行った。 平成27年度実績 6,124千円 委託料6,123,600円 基本設計・実施設計を業務委託していたが、耐震診断を行う必要が生じたため、別途耐震診断業務を発注を行った。その間、基本設計・実施設計に取り掛かれなかったため、工期を延長することとなり、平成28年度へ繰り越した。	
関連事業 (同一目的事業等)		

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
コスト	委託料	千円	0	6,124	0	0
	報酬	千円	0	0	0	0
	給料	千円	0	0	0	0
	職員手当等	千円	0	0	0	0
	共済費	千円	0	0	0	0
	災害補償費	千円	0	0	0	0
	恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
	賃金	千円	0	0	0	0
	報償費	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	6,124	0	0
	B 人件費	千円	0	2,320	0	0
	総事業費(A+B)	千円	0	8,444	0	0
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0
	府支出金	千円	0	0	0	0
	国・府支出金 コメント					
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	30,316	0	0
	一般財源	千円	0	-21,872	0	0

計画事業評価表

計画事業		000980 厚生会館改修事業					
事業実績と成果	活動指標名 業務委託数	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
		目標	件		2		
		実績			2		
	単位コスト			3062.000			
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果実績	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
			目標				
		実績					
目標							
実績							
目標							

事項		担当課評価																					
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		平成13年に改修を行ったが、さらなる機能充実のため、改修を実施する。大ホール改修・漏水対策を施す。																					
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		各種団体への聞き取り調査をもとに基本設計・実施設計を行い、厚生会館利用者のニーズに対応した施設にしていく。																					
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		基本設計・実施設計を行なう中で、厚生会館の耐震2次診断を行う必要が生じたため、施設改修の際に耐震補強工事を行う必要が生じ、限られた予算の中での改修工事内容を検討する必要がある。																					
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																					
事務事業の方向性の組み合わせ		B 改善(事業の進め方等に改善が必要) 平成26年度に各種民間、文化協会への聞き取り調査を実施。改修計画の一つである舞台搬入路の拡充については、用地確保ができなかったため、既存敷地内での改修となる。改修の設計を行なっているが、耐震補強対応や物価高騰等により、当初計画していた改修内容の実施が困難である。																					
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>	拡充	×	○			維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×		
	拡充	×	○																				
	維持	×			×																		
縮小	×		×	×																			
休廃止		×	×	×																			
<table border="1"> <tr> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性																	
皆減	縮小	維持	拡大																				
コスト投入の方向性																							